

だれもが安心して暮らせる
ユニバーサル社会の実現を!

二見地人協だより

第10号

2021年3月
令和3年

発行/二見地区人権教育研究協議会

コロナと人権



二見地区人権教育研究協議会
会長 増本 賀 英

昨年の初めから始まった
新型コロナウイルスの感染
防止に対する自粛は我々の
日々の生活に大きな変化を
もたらしています。

二見地人協においても年
次総会、研究会、リーダ
ー研修会など、関係される
皆さまに集まっていただけ
る全ての行事が開催出来ず
残念に思っております。そ
の様な中で、個別に実施い
ただける自治会や団体様に
人権研修をお願いした所、
ソーシャルディスタンスや
消毒のご配慮をいただきな
がら、現在まで10の自治会
などで人権研修を実施して
いただきました事は、大変
有り難くお礼申し上げます。
昨今の「コロナ禍では、
「自分の事は自分で片づけ
る」「人に迷惑をかけない
」といった我々の自助の

氣質が、とすれば我々の
意識下に偏見や差別が潜ん
でいるのかも知れません。

世界人権憲章では、人権
とは「すべての人間は、生
まれながらにして自由であ
り、かつ尊厳と権利につい
て平等である」とされてい
ます。人は皆それぞれが異
なった個性や感性があり、
その多様性を認めて受け入
れることが必要だと思いま
す。

法務省では全国の小学
校・中学校を通じて全ての
児童・生徒に「子ども
の人権SOSミニレタ
ー」を配布しています。
子ども達が教師やご家
庭にも相談できない悩
みごとをSOSミニレ
ターに書いてポストに
投函すると、最寄りの
法務局に届きます。法
務局では人権擁護委員
や法務局職員が希望さ
れた方法（手紙・電
話）でお返事をします
ので、困ったことがあ
れば「子ども人権SOS



SOSミニレター」を使つてご
相談いただければと思いま
す。

また、明石市では、
「総合相談ダイヤル」
(918-5090)や
「感染したかもダイヤル」
(918-5439)を
設置していますので、お困
りの時にはご利用をお願い
します。

子どもの人権SOSミニレター

コロナ禍で見えてきた 学校の役割

二見西小学校 校長 大蔵 太

「コロナ禍は、私たちに多くの深い
問いを投げかけてきます。その問い
により、今まで無意識・無自覚だっ
たことに日々気づかされています。
そのなかの一つは、学校の価値です。
休校になり、当たり前だった日常が
失われたことで、そもそも学校は何
を担い、何を守り、何を育んでいた
のかが、改めて顕在化してきました。
学校は狭い意味での「教育」に留ま
らない「福祉」的な価値（例えば健康的な生活リズ
ム、子どもの安全な居場所等）も担っていることが
如実に浮き彫りになってきたと感じています。

また、コロナ禍によって先が見通せない状態に日
本全体が陥ったことで、予測不可能な社会を真に自
立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能
力とは何か、という切実な問いが、私たちに投げか
けられていると思います。言い換えれば、この状況
下で自立的に生き、自分たちの暮らしや地域や社会
を守り創るために発揮される資質・能力こそ、これ
からの時代の初等中等教育で育むべき資質・能力と
言えるかもしれません。また、その解（資質・能
力）についても抽象論や理想論が一方的に伝達され
るのではなく、社会全体で具体的な共通体験を通し
てその解を探索し、体感を伴った対話を通して目指
すべき資質・能力が深く社会に共有されていく機会
だとも感じています。



(出典：明石市ホームページ)



知ってる？ LGBTQ+

『LGBTQ+とは？』
『LGBTQ+とは？』
多様な「性のあり方」を表す言葉
の頭文字を並べ、性的少数者のこと
を「LGBTQ+」と呼びます。



LGBTQ+の人口規模は、約8%
(12人に1人)との調査があります。
出典：「連合LGBTに関する職場の
意識調査(2016)」
「電通ダイバーシティ・ラボ
LGBT調査2018」

『これって、SOGIEハラ!』

SOGIEハラとは、SOGIE
(性的指向・性自認・性表現)に関す
るハラスメントのことです。

・SOGIEハラの特徴

- 「おまえホモかよ。気持ち悪い。」
- 「あの子ってそっち系？一緒にされ
たくないから無視しよう。」
- 「『内緒で』って教えてもらっただけど、
あの人は男だったんだって。」
- 「性別を変えたいって…。うちの職
場では雇えないよ。」

いかがですか？SOGIEハラのない、
だれもが安心して生きられるまち
づくりが必要です。

明石市では、性的少数者に関わらず、
すべての市民が自分らしく生き、互い
を認め合える「ありのままがあたりま
えのまち」を目指し、2021年1月
8日から「明石市パートナーシップ・
ファミリーシップ制度」がスタートし
ました。法律上の婚姻関係とは異なる
ため、法律に基づく権利・義務は発生
しませんが、医療機関で家族として対
応が可能になる、市営住宅に家族とし
て一緒に入居が出来るなど、さまざま
な効果が発生します。

人権DVD鑑賞



【桃香の自由帳】を観て

一見西小学校PTA人権部
我が子を想うあまり、子どもの行動に制限
を設けてしまうことがあります。しかしそれ
は「子どもの人権」を尊重していかないのかも
しれません。親の一方的な考えを押しつけず
子どもの意見をしっかりと聞き、寄り添うこ
とが重要だと感じました。そして子どもの
「力」を信頼し、見守っていく姿勢が大切だ
と思えました。

「人権」を多くの方が理解し過ごすことが
出来ればより良い社会になると思います。

おすすめの 絵本

「王さまと王さま」

王子さまとお姫さまの物語
ではなく、王子さまと王子さ
まが結ばれるお話があつてい
い。LGBTをテーマにした
絵本です。



リンダ・ハーン／文
スターン・ナイランド／絵
アンドレア・ゲルマー／訳
眞野 豊／訳
ポット出版／出版社

「教室はまちがうところだ」

みんなの前で手をあげて発表するこ
きの、ドキドキする気持ち、だれも
が経験しているはず。そんな子ども
たちを「まちがえることをおそれち
やいけない」と励まし、まちがうな
かで「ほんとのものをみつけていく
のだ」「そうしてみんなで伸びてい
くのだ」と語りかけます。



蒔田 晋治／作 長谷川知子／絵
子どもの未来社／出版社

「ばあばは、だいじょうぶ」

古い、認知症、介護といった、とても
難しい、しかし誰もが避けては通れな
い問題を子どもの視点から描き出し
ています。記憶を少しずつ失っていつ
も、それでも変わることはない人間性
家族の繋がりを描き出す感動作です。



楠 章子／作
いしい つとむ／絵
童心社／出版社